事業者向け放課後等デイサービス評価表　（児童発達支援事業所　ばんびーにこくらきた）

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫点など
環境・体制整備	①	設備は利用定員に応じて適切であるか	○			子ども1人あたり4㎡以上の床面積を確保、静養や個別療育のためのスペースも設けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			理学療法士や作業療法士などのセラピスト、児童指導員、保育士、障害福祉サービス経験者を常時3人以上配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入り口前のスロープ、車いす用トイレ、段差のないフラットなスペース等、身体障害児の利用にも対応できる設備を完備しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的な個別支援会議に加えて各職員が必要時に話し合いを行うことで、業務改善に努めています。
	⑤	アンケート調査を実施して保護者の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的にアンケート調査を実施。また送迎時や電話にて保護者との情報交換を行い、職員間で共有しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			ホームページ上にて年度末に公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		利用児童ご家族や外部連携機関の方の意見を業務改善につなげていますが、今後より一層の外部評価を取り入れていきたいと考えています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		各職員が積極的に研修会に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	○			保護者アンケートからの情報をもとに、会議にて個別・集団における課題を分析したうえで計画作成を行っています。
	⑩	子どもの発達課題に沿った療育（個別リハビリを含む）が提供されているか	○			常に療育の中での観察を通じて評価を行い、課題に沿った訓練の立案・提供を行っています。また、児童の成長過程や課題を日々の連絡帳に記載しています。
	⑪	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインに示す支援内容から適切な項目が選択され、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドライン内容を周知し、その都度内容を確認した上で支援内容を設定している。
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		集団療育担当の職員で集団プログラムの立案を行っていますが、今後は個別療育職員の参画を促していきます。
	⑬	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			月の予定表を作成したうえで、様々なプログラムの提供が行えるよう職員間で意見交換・修正しています。
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			状況に応じて、プログラムの設定しています。休日、長期休暇中は買い物練習や野球観戦などのイベントを設定しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	○			計画立案時から個別・集団療育の整合性をもたせつつ、日々の子どもの様子に合わせて活動提供の方法を調整しています。
	⑯	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画内容は各職員に周知を図ったうえで、集団・個別療育の整合性を持たせて支援を行っています。
	⑰	支援開始前・終了後に職員間で打ち合わせを行い、支援内容の確認や振り返り内容を職員間で共有しているか	○			支援開始前・終了後に、児の近況等を情報共有し、支援内容の確認・反省を行っている。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			6ヶ月に1度のモニタリング、個別支援計画作成のほか、必要に応じて個別支援会議を実施し、支援の見直しを行っています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1度のモニタリングと計画見直し、必要に応じて会議を実施して支援の見直しを行っています。

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や、子どもの状況をよく把握している職員が参画しています。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			入園決定時に情報共有の機会を作り、子供の様子や、各支援内容の確認・情報共有を行っている。
	㉒	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			自事業所放課後デイのスタッフに情報提供を行ったうえで、必要に応じて関係者会議を行っています。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等との専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			関係者会議等において必要に応じた他事業所との連携、見学の受け入れ等を行っています。
	㉔	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		必要に応じて参画を検討していきます。
	㉕	日ごろから子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○			連絡帳や、送迎時の直接的なコミュニケーションを通じて、情報共有を行っています。
	㉖	保護者に対する支援（ペアレントトレーニング等）を行っているか		○		保護者からの相談・希望に応じて療育の見学等を行い、その中で必要なアドバイスを行っています。
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や保護者からの質問があった際は丁寧な説明を心がけており、その都度ご理解をいただいています。
	㉘	保護者からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は必要な助言や支援を行っています。
	㉙	保護者会の開催等、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会の開催などを検討していきます。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情担当者を配置し、その都度対応を行っています。
	㉛	定期的なホームページ更新等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人ホームページを定期的に更新し、活動概要などの発信を行っています。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	○			施錠できるロッカーにて厳重に管理しています。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			それぞれのお子様の特性に配慮し、情報伝達を行っています。
	㉞	地域に開かれた事業所運営を行っているか	○			月1回の研修会を開催するとともに、地域講演会へも講師として参加しています。
非常時等の対応	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルを作成していますが、今後は保護者への周知を行っていきます。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		定期的に訓練を実施していますが、実施時期や概要等が保護者様にも伝わるよう検討していきます。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			各研修会に参加後、伝達講習を行い全職員への周知に努めています。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○			不穏傾向のお子様に関しては、事前に拘束の状況などを予測した上で、保護者様に了承を得て、計画書にその内容を記載しています。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師との連携の機会は限られていますが、保護者からの聞き取り内容を全職員に周知し、個別に対応を行っています。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例報告書をファイリングして、いつでも閲覧できるようにしています。